

## 重点分野 環境に配慮した産業の振興と国際貢献の推進

### 重点分野の目標と達成状況

- ①海外からの環境技術視察・研修の受入人数：基準年度（2009年度1,143人）より増やすこと  
⇒**689人**
- ②環境に係る国際会議・イベント等実施状況  
⇒**川崎国際環境技術展等 4回開催**
- ③環境技術開発に向けた事業者、大学、研究機関等との連携による共同研究の件数と実施内容  
⇒**共同研究7件**

#### 【海外からの環境技術視察・研修受け入れ状況】

海外から689人（エコタウン施設454人・エコタウン施設以外235人）の視察があり、前年度と比べ85人減少しました。

中国・韓国・ベトナム・タイ・ミャンマー等から環境保護の対策、循環活用システム、省エネ・省エネ技術等、先進的な取組現場を学ぶことを目的にエコタウン施設やCCかわさきエネルギーパーク等の視察に訪れています。



海外からの環境技術視察・研修の受入

#### 【環境に係る国際会議・イベントの実施状況】

##### <川崎国際環境技術展2015の開催>

川崎国際環境技術展では、市内を中心に国内外の優れた環境技術・製品を「川崎の地」から広く発信するとともに環境分野での国際的なビジネスマッチングの場を提供することで、環境技術の移転による国際貢献と産業の活性化を推進しています。2015では138団体220ブースの出展があり、中国・韓国等の海外からの約220人の来場を含め、合計11,300人が来場しました。

##### <アジア・太平洋エコビジネスフォーラムの開催>

国連環境計画（UNEP）と連携し、環境への先進的な取組の情報交換、参加都市間の連携を推進しています。



川崎国際環境技術展

#### 【環境技術開発に向けた事業者、大学、研究機関との連携による共同研究実施状況】

- ・エアロゾル複合分析計のフィールド評価
- ・直流給電方式による省エネ型電源に関する研究
- ・ボトムアップ型まちづくり手法による低炭素商店街の実現手法検討
- ・200℃未満の未利用熱を利用した発電システムの導入可能性調査研究
- ・気候変動適応策等へのフェーズドアレイ気象レーダ活用に向けた研究
- ・環境情報・写真データを用いたコミュニティ活性化支援に関する共同研究～川崎タイム・マシン～「環境」×「川崎の過去・現在」を対話する
- ・既設太陽光パネルの洗浄方法と発電効率に関する実証